

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援 みによん				公表日	R8 年 3 月 18 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	活動内容に応じてプレイルームや相談室等を使い分け、子どもが落ち着いて過ごせる環境作りを行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	利用人数に応じて職員配置を調整し、有資格者を配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	視覚的な掲示物やスケジュールを活用し、子どもが理解しやすい構造化された環境作りを行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	清掃や消毒、換気を定期的に行い、清潔で安心して過ごせる環境作りを行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	個別に活動できるスペースを確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	支援終了後に職員間で振り返りを行い、支援内容や課題について共有している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	保護者からの評価や意見を職員間で共有し、支援内容の見直しを行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	意見交換しやすい環境になっており、ミーティングを行い業務改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	現在を実施していないが、外部評価について情報収集を行っている。	必要に応じて第三者評価の導入を検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	研修計画を立てて、職員が積極的に研修に参加できるよう体制を整えている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	ホームページにて支援プログラムを公表し、周知している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	保護者の意向や子どもの発達状況を踏まえて支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	職員間で会議を行い、情報を共有しながら計画を作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	毎月目標設定・評価を行い、計画に沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	5領域に沿ったアセスメントツールを用いて発達状況を把握している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ガイドラインを参考に、子どもに必要な支援内容を選択し計画に反映している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	職員会議で活動内容を話し合い、チームでプログラムを作成している。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	様々な活動や療育方法を取り入れ、活動が固定化されないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個々の発達段階に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	支援前に職員間で打ち合わせを行い、役割分担を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援後に、ミーティングを行い、支援内容の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日々の記録を残し、支援の検証や改善に役立てている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	年2回モニタリングを行い、支援計画を見直している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	相談支援事業所と連携し、必要な情報共有を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	電話や会議を通して関係機関との連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	保育所や幼稚園との情報共有を行い、支援内容の理解を深めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	入学前に学校での会議に出席し、情報共有と相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	地域の専門機関の会議や研修に参加し、情報交換を行っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	近隣施設や公園で交流の機会を設けている。	地域との交流の機会を増やしていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳や送迎時に保護者と情報共有を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	家庭での関わり方について助言を行っている。	ペアレントトレーニング等の実施を検討する。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	変更時は重要事項説明書にて丁寧に説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	5領域に沿った意思や意向の確認を行っている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	支援計画を作成し、説明後に同意をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	日頃から保護者の相談に応じ、必要な助言と支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	父母の会はないが、親子で参加できる行事にて、保護者同士や兄弟同士で交流できる機会を設けている。	保護者同士で交流する機会を設けていく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	相談や苦情に迅速に対応できる体制を整えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	会報誌やHP、行事予定表を配布し情報発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報の管理を徹底している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	アンケートや連絡帳等を活用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	事業所の敷地内でキッチンカーに出店していただき駐車場開放を行った。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各種マニュアルを整備し、訓練も実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	計画に沿って訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	契約時に状況確認票を記入していただき、子どもの健康状態を日々確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	アレルギーの有無を確認し、必要に応じて医師の指示書の提出をお願いしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を作成し、安全管理が十分された中で支援を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	契約時に、安全計画について説明している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットを記録し、職員間で共有、再発防止に向けて方策の検討を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止研修に参加し、職員間で共有している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	身体拘束について重要事項説明書で説明し、支援計画にも記載している。		